

# 施策目標に関する中長期的な目標と成果指標(24年度実績評価用)

## 政策目標10 科学技術の戦略的重点化

| 施策目標(テーマ)  | 達成目標   | 主な成果指標(アウトカム)/活動指標(アウトプット)   |
|--|--|--|
| <b>1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組</b><br><br>研究振興局 ライフサイエンス課<br>(同局研究振興戦略官) | 1 蓄積された知見、技術を活用し、医学・薬学への貢献、産業応用に向けて生命現象がさらに解明される。                        | <b>【成果指標(アウトカム)】</b><br>① 成果の活用状況<br>(実績:活用事例/目標:蓄積された治験、技術の医学・薬学への貢献、産業応用)  |
|  | 2 革新的がん医療技術に関する研究などを通じ、先端医療の実現に資する知見の蓄積、技術の開発、またそれに必要な環境が整備される。          | <b>【成果指標(アウトカム)】</b><br>① 次世代がん研究戦略プロジェクト採択課題のうち、前臨床もしくは臨床研究段階へ移行した有望なシーズ数<br>(23年度実績:0件/目標:27年度・39件)<br>② 分子イメージング研究戦略推進プログラム採択課題のうち、臨床に向けたPOC(Proof of Concept)の取得数(件)<br>(23年度実績:0件/目標:26年度・8件)<br>③ iPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行<br>(23年度実績:0件/目標:平成25年度・体性幹細胞を用いた研究の臨床研究への移行、平成29年度・iPS/ES細胞を用いた研究の臨床研究への移行)<br><b>【参考指標】</b><br>④ 分子イメージング研究戦略推進プロジェクトにおける発表論文数<br>(23年度実績:92件/目標:24年度・対前年度比増) |
|  | 3 新興・再興感染症克服技術など、社会の安全・安心の確保に必要な知見の蓄積、人材の養成等が図られる。                       | <b>【活動指標(アウトプット)】</b><br>① 事業に参画した研究人材の数<br>(23年度実績:114(累積)/目標:毎年度・前年度比増)<br><b>【参考指標】</b><br>② 発表論文数<br>(23年度実績:280本/活動見込:24年度・240本)  |
|  | 4 研究の発展・動向を踏まえ、生命倫理に関する法令・指針に基づいた規制を適切に実施する。                             | <b>【成果指標(アウトカム)】</b><br>① 指針の違反件数<br>(23年度実績:0/目標:毎年度・指針違反事案が発生した場合は適切に処理する。)<br><b>【参考指標】</b><br>② 指針見直し等に係る取組み<br>(23年度実績:平成23年度10月に報告された新たなヒト胚の作成に関する検討/活動見込:24年度・研究の発展・動向を踏まえて法令・指針の見直し等を適宜実施する。)  |
|  | 5 被災地域の医療復興に貢献すると共に、予防医療・個別化医療等の次世代医療実現に資する知見の蓄積、技術の開発、またそれに必要な環境が整備される。 | <b>【活動指標(アウトプット)】</b><br>① 東北地区における健康人コホートの協力者の数<br>(23年度実績:ー/目標:25年度 9,000人 (28年度中に15万人))   |

**【施策の概要】**  
 「生命現象の統合的理解」を目指した研究を推進するとともに、「先端医療の実現のための研究」等の推進を重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。さらに、生命倫理問題等が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に対し、研究の進展状況を踏まえた施策への反映、研究者等への法令等の遵守の徹底等を通じ、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和を目指す。

### 達成手段

| 達成手段<br>(事業・税制措置・国会議等)    | 23年度<br>当初予算<br>算額<br>(千円) | 23年度<br>補正予算<br>算額<br>(千円) | 24年度<br>当初予算<br>算額<br>(千円) | 達成手段の概要   | 行政事業<br>レビュー<br>シート<br>番号 | 関連する<br>指標 | 担当課            |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---|---------------------------|------------|----------------|
| ライフサイエンス研究開発推進経費          | 40,275                     | -                          | 39,378                     | ライフサイエンス分野の研究開発の推進全体に必要な経費及び、生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する調査検討及び法令に基づく審査等を実施する。  | 0261                      | 4-①        | 研究振興局ライフサイエンス課 |
| 再生医療の実現化プロジェクト            | 3,800,000                  | -                          | 4,498,706                  | iPS細胞は、再生医療・疾患研究等に幅広く活用されることが期待される我が国発の画期的成果であり、この研究成果を総力を挙げていくため、オールジャパン体制のもと戦略的に研究を推進。関係省との協働により、切れ目無く実用化に向けたシーズを発掘し、早期の再生医療の実現を図るとともに、iPS細胞を活用して難病・疾患研究や創薬を推進する。                         | 0262                      | 2-③        | 研究振興局ライフサイエンス課 |
| 脳科学研究戦略推進プログラム            | 3,590,000                  | -                          | 3,487,372                  | 「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、社会への応用を明確に見据えた脳科学研究を戦略的に推進。「ブレイン・マシン・インターフェース(BMI)の開発」、「独創性の高いモデル動物の開発」、「社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発」、「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子」、「精神・神経疾患の克服を目指す研究」及び集約的・体系的な情報基盤の構築に関する事業を実施。 | 0263                      | 1-①        | 研究振興局ライフサイエンス課 |
| 革新的細胞解析研究プログラム(セルイノベーション) | 880,000                    | -                          | 852,000                    | 遺伝子の動きの変化や細胞内の情報の伝わり方などについての解析等による、細胞・生命プログラム解読に向け、革新的な解析能力を持つシーケンス拠点並びにデータ解析拠点の重点的な整備と、シーケンス拠点を利用した先端研究を一体的に推進。  | 0264                      | 1-①        | 研究振興局ライフサイエンス課 |
| 感染症研究国際ネットワーク推進プログラム      | 1,722,000                  | -                          | 1,721,552                  | 感染症が人類に対する脅威となっていることに鑑み、これまでに整備した新興・再興感染症研究拠点の更なる充実・強化を図ることにより、持続的な研究活動を進める基盤を確立する。また、国内外の研究機関との連携を深め、感染症対策に資する知見の集積、人材育成等を図ることにより、国際貢献を果たしつつ、日本国民ひいては人類の健康と安全を守ることに寄与する。                   | 0265                      | 3-①        | 研究振興局研究振興戦略官付  |
| 分子イメージング研究戦略推進プログラム       | 500,000                    | -                          | 499,802                    | 生体内分子の機能や投与薬物の動態などを生物が生きたままの状態画像化する分子イメージング技術を活用し、創薬プロセスの革新及び疾患診断の高度化等を図る。  | 0266                      | 2-②        | 研究振興局研究振興戦略官付  |

|                                 |               |                 |                         |   |      |           |                |
|---------------------------------|---------------|-----------------|-------------------------|---|------|-----------|----------------|
| オーダーメイド医療の実現プログラム               | 1,560.00<br>0 | -               | 1,560.00<br>0           | がん・生活習慣病等の国民の健康に特に影響を与える疾患について、全国57病院の協力によるオールジャパン体制で関連遺伝子の探索・解明等を行い、個人個人に最適な予防・治療を提供することを可能とする医療の実現を目指す。 | 0267 | 2-①、<br>② | 研究振興局研究振興戦略官付  |
| 次世代がん研究戦略推進プロジェクト               | 3,600.00<br>0 | -               | 3,635.50<br>2           | 次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速する。                                       | 0268 | 2-①       | 研究振興局研究振興戦略官付  |
| 知の拠点形成プロジェクト(うち東北メディカル・メガバンク計画) | -             | 15,768.00<br>00 | 5,606.50<br>0(復興特会(復興)) | 被災地域の医療復興に大きく貢献する予防医療・個別化医療等の次世代医療実現のため、ゲノムコホート研究(遺伝情報を含む長期疫学研究)等を実施。                                     | 0273 | 5-①       | 研究振興局ライフサイエンス課 |

(参考)関連する独立行政法人の事業

| 事業                           | 23年度当初予算額(千円)   | 23年度補正予算額(千円)  | 24年度当初予算額(千円)                         | 達成手段の概要   | 行政事業レビューシート番号 | 関連する指標 | 担当課                     |
|------------------------------|-----------------|----------------|---------------------------------------|---|---------------|--------|-------------------------|
| 独立行政法人放射線医学総合研究所運営費交付金に必要な経費 | <11,124,347>の内数 | -              | <12,095,058(うち復興特会(文科省)1,430,203)>の内数 | 放射線利用と放射線規制科学を総合的に推進することにより、放射線医学に関する科学技術水準の向上を目指す。<br>(1)放射線のリスクを計る「放射線安全研究」<br>(2)万が一の原子力災害で国民を被ばく事故から救う「緊急被ばく医療研究」<br>(3)他の治療法では治療が困難ながんを炭素線ですす「重粒子線を用いたがん治療研究」<br>(4)体を傷つけずに放射線で生命活動を見る「分子イメージング手法を用いた疾患診断研究」   | 0278          | 1-①    | 研究振興局研究振興戦略官付           |
| 独立行政法人放射線医学総合研究所施設整備に必要な経費   | <472,000>の内数    | <1,276,000>の内数 | <1,166,000(うち復興特会(文科省)1,000,000)>の内数  | (独)放射線医学総合研究所の業務を実施するうえで必要な施設の設置又は改造に要する費用を   | 0279<br>0280  | 1-①    | 研究振興局研究振興戦略官付           |
| 独立行政法人理化学研究所運営費交付金に必要な経費     | <58,377,907>の内数 | -              | <58,076,117>の内数                       | ○脳科学総合研究事業<br>我が国の脳科学を総合的に牽引する中核的研究機関として役割を果たすとともに、分子から神経回路を経て心に至る脳の仕組みを解読するといった科学の飛躍的進歩をもたらす研究を推進する。<br>○植物科学研究事業<br>代謝物解析と遺伝子探索に重点を置いて、植物の生長、形態形成、環境応答などの植物に特有な制御・応答メカニズムの解明研究を実施し、植物の質的・量的な生産力の向上を目指す。また、遺伝子組換え作物の安全性評価に資するため、在来種との実質同等性を解析するための基盤を整備する。<br>○発生・再生科学総合研究事業<br>細胞治療・組織再生など医学的応用につながるテーマの基礎的・モデル的研究を効率的に推進し、得られる成果を広く応用分野に発信するとともに、発生生物学の新たな展開に貢献する。<br>○免疫・アレルギー科学総合研究事業<br>現代社会が抱える重要課題の一つである免疫・アレルギー疾患の基礎的・総合的解明の研究を通じ、免疫・アレルギー疾患等の克服に貢献に資する。基礎基盤研究を通して、疾患発症原理を明らかにし、制御基盤技術の確立や研究成果の応用を加速するためのプラットフォームの構築を<br>○ゲノム医科学研究事業(遺伝子多型研究事業)<br>ヒトゲノムの遺伝子領域におけるSNP(一塩基多型:個人ごとの塩基配列の違い)情報を活用し、関節リウマチ等の疾患や薬剤応答に関連する遺伝子を同定し、創薬をはじめとする新しい治療法や診断法等の開発に資する。<br>○分子イメージング事業<br>低分子化合物や高分子化合物に対する放射性元素による標識合成の技術開発、生活習慣病や難治性疾患の予知・診断・治療薬の開発へつながる研究開発、分子イメージング技術の高度化を目指した開発等を行う。また、分子イメージング技術を適用した新たな創薬プロセスを推進するための技術的基盤を確立する。<br>○ライフサイエンス基盤研究領域事業<br>遺伝子とタンパク質等のレベルで生命現象を理解するオミックス基盤研究領域及び生命分子システム基盤研究領域、並びに膨大な実験データの利用技術を研究する生命情報基盤研究部門からなるライフサイエンス基盤研究を推進する。 | 0281          | 1-①    | 研究振興局ライフサイエンス課、研究振興戦略官付 |

〈修正のポイント〉  
一部の達成目標について23年度実績評価書に参考指標を追加したことによる同様の修正。